

【放課後等デイサービス 自己評価実施の概要】

- 1) 利用者調査有効回答者割合 70.6%：配布数 17 世帯 回収数 12 世帯
職員調査有効回答者割合 100%：配布人数 6 名 回収 6 名
- 2) 評価スケジュール：
利用者調査と職員調査の実施：2025 年 11 月～12 月
- 3) 分析結果と今後の取組み
利用者調査と職員調査それぞれについて、調査結果から良かった点を強み、改善すべき点を弱みとして分析いたしました。

放課後等デイサービス 利用者アンケート結果まとめ

1. 環境・体制整備

〈強み〉

- ・活動スペースが十分に確保されており、のびのびと過ごせる環境になっている。
- ・職員の人数や専門性、バリアフリーや情報の伝え方に配慮した環境になっている。

〈今後に向けて〉

- ・「デイ専用駐車場が満車のことがある」「建物の耐震が気になる」といったお声がありました。対応や情報提供の方法を検討していきます。
-

2. 適切な支援の提供

〈強み〉

- ・お子さん一人ひとりの状況に合わせた個別支援計画の作成や、活動プログラムの工夫が高く評価されている。
- ・短い時間の中でも、その子に合った関わりができています。

〈弱み〉

- ・放課後児童クラブなどとの交流や、障害のない子どもとの活動については、「はい」が 8.3%と少なく、「どちらともいえない」「いいえ」が多い結果になっている。

〈今後に向けて〉

- ・地域交流については、「必要」と感じる方と「今は望んでいない」方の両方がいらっしゃるため、保護者の方の思いやお子さんの様子を丁寧に伺いながら、実施の有無や方法を慎重に検討していきます。

3. 保護者への説明等

〈強み〉

- ・運営のきまりやご利用料金についての説明、日々のお子さんの様子や課題の共有、定期面談やアドバイスなど、保護者の方への説明や連携が高く評価されている。
- ・ご相談やご要望にも、できるだけ早く丁寧に対応できている。
- ・連絡手段や説明の工夫により、「意思疎通がしやすい」「個人情報にもきちんと配慮されている」と高く評価されている。

〈弱み〉

- ・保護者同士で顔を合わせて話す機会が十分ではない。

〈今後に向けて〉

- ・負担になりにくい形で、保護者同士が気軽に話せる機会を工夫していきます。
-

4. 非常時等の対応

〈強み〉

- ・感染症対策については、「十分に配慮されている」と高く評価されている。

〈弱み〉

- ・体調不良時や災害時・防犯・感染症対応のマニュアルについて周知が徹底されていない。

〈今後に向けて〉

- ・緊急時・防犯・感染症対応のマニュアルについて、文書や掲示、面談などで分かりやすくお伝えしていきます。
-

5. 満足度

〈強み〉

- ・「通所を楽しみにしている」との回答が、全ての方から得られた。
- ・事業所の支援についても、ほとんどの方から「満足している」と回答が得られた。
- ・自由記載では、「いつも安心して利用できる」「職員さんが優しく楽しく関わってくれる」「第二の家のようにゆったり過ごせる」「夏休みのイベントがありがたい」など、沢山のあたたかいお言葉をいただいた。

〈今後に向けて〉

- ・今いただいている高い満足度を大切にしながら、いただいたご意見を少しずつ形にして

いきたいと考えています。

- ・駐車場や地域交流のあり方、保護者同士の交流の場づくり、非常時マニュアルの説明の仕方などについて改善を進め、より安心して利用していただける事業所を目指します。
- ・自由記載で挙げた「入浴サービス」「自宅への送りバス」などのご要望についても、実現の可否や方法を含め、今後の検討課題として受け止めていきます。

放課後等デイサービス 職員自己評価 分析結果と今後の取り組み

1. 強み

● 個別支援の質の高さ

- ・利用者やご家族の思いを丁寧に伺ったうえでのアセスメント、個別支援計画の作成、個別活動と集団活動のバランスのとれた組み合わせ、毎回の支援記録の徹底など、一連の流れをしっかりと行っている。
- ・支援前には必ず職員同士で打ち合わせと役割確認を行っており、チームとして支援できている。

● 保護者・学校との密な連携

- ・日頃から利用者の様子や発達面での課題について情報共有し、共通理解をもっている。
- ・個人情報の取り扱いにも十分配慮しつつ、連絡帳や電話等での情報伝達を工夫し、保護者との信頼関係の形成につながっている。
- ・小・中学校とも情報共有や連絡調整を行い、学校生活とのつながりを意識した支援に取り組んでいる。

● 業務改善への意識と第三者評価の活用

- ・ご家族向けの評価表を活用し、いただいた声をできるだけ支援内容や運営改善に反映させようとする姿勢がある。
- ・第三者からの客観的な評価も前向きに受け止め、その結果を改善につなげていこうとする意識が職員間で共有されている。

2. 弱み(課題)

● 体制・人材に関する課題

- ・職員の配置について、「今の体制で十分とはいえない」という意見がある。
- ・職員がスキルアップできる研修の機会が「足りていない」と感じている職員もおり、

学びの場を増やす必要性がある

● 外部機関・地域との連携不足

・相談支援事業所、主治医・協力医療機関、就学前後の関係機関、児童発達支援センターなどとの連携については、「もっと深められるのではないか」という自己評価である。

● 家族支援と保護者同士のつながり

・保護者会や交流会など、ご家族同士がつながる場づくりも十分には行えていない。

● 非常時マニュアルの周知不足

・緊急時対応、防犯、特に感染症対応のマニュアルについて、「内容をよく把握できていない」「周知の仕方に工夫が必要」と感じている。

3. 今後に向けて

● 体制・人材基盤の強化

・職員配置や業務分担を見直し、無理のない体制で質の高い支援を続けられるよう検討します。

・研修の機会を増やし、興味や課題に応じて学べる環境づくりを進めていきます。

● 外部機関・地域との連携強化

・相談支援事業所、医療機関、児童発達支援センターなどとの連携を整理し、「誰と・どのように」つながるかを明確にしていきます。

・就学前後の関係機関との情報共有を進め、切れ目のない支援をめざします。

● 家族支援と保護者間連携の充実

・保護者同士が情報交換できる場を、参加しやすい形も含めて検討していきます。

● 非常時対応とマニュアル周知の徹底

・緊急時・防犯・感染症対応などのマニュアルを整理し、職員全体で内容を再確認します。

・保護者の方にも分かりやすくお伝えできるよう、説明の方法やタイミング(配布資料、掲示、面談時の案内など)を工夫していきます。

・ヒヤリハットの共有や虐待防止研修なども継続し、「安全で安心して過ごせる場」であることをこれからも大切にしていきます。

これらの取り組みを積み重ねることで、今ある良さをさらに伸ばしつつ、見えてきた課題にも一つひとつ丁寧に向き合い、今後ご利用者とご家族にとって「安心して通える放課後等デイサービス」であり続けられるよう努めてまいります。